

## 平成26年度定住自立圏日本語ボランティア養成講座実施要綱

○事業の目的 外国人市民の、日本語によるコミュニケーション能力を高めるために、日本語指導に協力していただくボランティアを養成する。

○対象者 外国人市民の日本語学習支援をする意志がある人

○内容 ・多文化共生とは  
 ・日本語ボランティアとは  
 ・日本語とは

○目標 養成講座終了後は、各市町別に「日本語講座」を開催するために日本語指導力を習得する

- ・外国人市民が持つ不安
- ・外国人市民が日本語を学ぶ必要性
- ・日本語と国語の大きな違い
- ・外国人学習者が話す日本語の特徴
- ・基礎的な文法
- ・効果的な副教材(絵カード等)の使い方
- ・教師としての立ち居振る舞い・言葉づかい

○カリキュラム案(各回90分、全15回、時間14:00~15:30)

回数	月	日	曜日	内容	講師	目標
1	8	26	火	開講式、自己紹介、多文化共生とは	多文化共生アドバイザー高柳香代氏	本講座の意義を知る
2	9	2	火	日本語の特徴①	新居崎先生	国際的に見た日本語の位置づけや国語との違いを知る
3		9	火	日本語の特徴②	新居崎先生	
4		16	火	日本語の特徴③	新居崎先生	
		23	火	休講(秋分の日)		
5		30	火	第1期生との交流会		ボランティアの実際の活動を知る
6	10	7	火	日本語の特徴④	新居崎先生	国際的に見た日本語の位置づけや国語との違いを知る
7		14	火	日本語の特徴⑤	新居崎先生	
8		21	火	日本語の特徴⑥	新居崎先生	
9		28	火	日本語の特徴⑦	新居崎先生	
10	11	4	火	日本語の特徴⑧	新居崎先生	
11		11	火	日本語の特徴⑨	新居崎先生	
12		18	火	日本語の特徴⑩	新居崎先生	
13		25	火	日本語の特徴⑪	新居崎先生	
14	12	2	火	日本語の特徴⑫	新居崎先生	
15		9	火	演習	新居崎先生	
16		16	火	日本語学習支援者としての心得	諸留奉子氏(曾於市にほんごれんしゅう会inそおボランティア)	自主運営での日本語講座の運営について学ぶ

○特記事項 毎レッスン終了後、「ふりかえりシート」を書いてもらい、次の講座に生かす